

## 倉安川吉井水門



指定区分	県指定史跡
読みかた	くらやすがわよしいすいもん
所在地	岡山市東区吉井
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	倉安川は吉井川と旭川を繋ぐ水運と干拓地新田への灌漑(かんがい)を目的とする人工水路である。その起点に所在する吉井水門の構造は、二重に水門を設置し、「高瀬廻し」といわれる船だまりで吉井川と運河内の水位を調節する「閘門(こうもん)式」という先進的な技術を導入したもので、高度な設計理念と技術が駆使されている。
アクセス方法	JR長船駅から約3.3km / 宇野バス「吉井」から約800m
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	倉安川吉井水門
よみかた	くらやすがわよしいすいもん
しょざいち (所在地)	岡山市東区吉井
していたひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	江戸時代のはじめごろに倉安川(くらやすがわ)という人工の川がつくられました。倉安川は、農業用水(のうぎょうようすい)を引くためと、吉井川(よしいがわ)から岡山城(おかやまじょう)の近くまで舟でたどり着けるようするための2つの役割を持っていました。舟を運航(うんこう)するには、吉井川と倉安川では水面(すいめん)の高さに差があるため、水門(すいもん)を二重(にじゅう)につくり、2つの門のあいだの船だまりで水面を調整(ちょうせい)しました。